

事業成果報告書

1. 教育委員会名 鳥取市教育委員会

2. 研究主題 魅力ある学校統合事例の創出
※事業計画書「3. 研究主題」と同じ

3. 研究タイトル 統合を契機とした魅力的な学校づくりに関する先進的な取組
～施設分離型、5・4制義務教育学校の在り方を探る～
※事業計画書「4. 研究タイトル」と同じ

4. 研究課題

(1) 統合後の学校が新たな学区の地域コミュニティの核として高い教育機能を発揮するための方策に関する研究
(研究課題)
・新設教科「表鷲科(あらわしか)」をはじめとした地域の文化や歴史、人材などを活用した特色ある9年間の教育課程の実践と検証
・地域住民が学校づくりに参画したことを地域づくりにどう活かしていくかを検討

(2) 統合を契機とした学校運営システムの抜本的改革に関する研究
(研究課題)
・学校運営協議会(コミュニティスクール)の導入による「地域とともにある学校づくり」の推進

(3) 統合を契機とした魅力的な学校づくりに関する先進的な取組
(研究課題)
・施設分離型、5・4制義務教育学校におけるテレビ会議システム等を活用した適切な学校運営の在り方を探る。

5. 事業の実績

(1) 調査研究のねらい

鹿野学園開校1年目にあたり、地域の特色を生かした新たな教育課程を実践し、地域が主体的に学校運営に参画することを通して、地域の活性化にどのようにつなげていくのかを研究していく。また、全国でもあまり例のない施設分離型5・4制義務教育学校のよりよい学校運営の在り方や魅力ある教育課程の編制について研究し、全国に発信していくことをねらう。

※要点をまとめ、簡潔に記載すること。

(2) 調査研究の実施状況(平成30年度)

| | |
|-----|--|
| 6月 | 鳥取市立湖南学園運営協議会設立準備会参加 |
| 7月 | 鳥取市立福部未来学園運営協議会参加 |
| 8月 | 第2回鹿野地域魅力ある学校づくり推進協議会・小中合同研修会(2)兼鹿野地域教育フォーラム・地域との連携を軸とした魅力ある学校づくりについて |
| 9月 | 第2回鹿野地域魅力ある学校づくり推進協議会 ・研修視察報告、先進的な取組(テレビ会議システムの運用状況等)について |
| 10月 | 鹿野地域魅力ある学校づくり推進協議会小中合同研修会(3) ・新設教科「表鷲科」のねらいと実際の授業について(授業研究会 小学部) |
| 11月 | 学習発表会において事業報告 |
| 12月 | 第4回鹿野地域魅力ある学校づくり推進協議会小中合同研修会(4) ・新設教科「表鷲科」や「総合的な学習の時間」等の進捗状況について(授業研究会 中学部) |
| 1月 | 成果刊行物(パンフレット)の編集 |
| 2月 | 第3回鹿野地域魅力ある学校づくり推進協議会 ・本年度の成果、成果刊行物の発行について |

6. 事業の成果

(1) 研究課題に応じて設定した具体的目標に対する達成状況

| |
|---|
| <p>(1) 統合後の学校が新たな学区の地域コミュニティの核として高い教育機能を発揮するための方策に関する研究 (具体的目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新設教科をはじめとした地域の歴史や文化、人材などを活かした特色ある教育課程を編成し、地域住民が主体的に学校運営に参画することを通して、故郷を大切に子どもを育成する。 <p>(成果指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと鹿野が好きだ」と答える児童生徒を育てる。 ・「進んで学習に取り組んでいる」と答える児童生徒を育てる。 ・「積極的に学校の行事や学習に参加している」と答える地域住民を増やし、「地域が元気になった」と感じる割合を大きくする。 <p>(達成状況)</p> <p>項目1、項目3については児童生徒及び地域住民にアンケート実施中。義務教育学校となり、合同運動会・学習発表会等の参加者は増えたが、前期課程・後期課程とも高学年の活躍の場面がやや減り、保護者から改善への意見が出された。今後の課題である。地域住民の参画意識は向上している。</p> <p>項目2「進んで学習に取り組んでいる」に関しては肯定的評価が本市平均より大幅に高い。7月と12月を比較しても向上している。</p> |
| <p>(2) 統合を契機とした学校運営システムの抜本的改革に関する研究 (具体的目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会を設置し、地域と連携・協働した学校づくりを推進する。 <p>(成果指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域が課題を共有し、学校の教育課程等を検討することで、地域総がかりで子どもを育てる機運が高まる。 <p>(達成状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会が3回開催された。運営協議会が主体となって地域住民に「地域との協働に関するアンケート」を実施している。 ・運営協議会では青山学院大学と共同研究しているワークショップを地域住民にも広げるべきであるといった建設的な意見が出されるようになり、教育課程についても協議しようといった機運が高まっている。 ・6年生が「町づくり協議会」に参加し、活性化に向けた施策をプレゼンし、新聞報道等でも取り上げられるなど、本事業を通じて地域と学校の協働が進んでいる。 |
| <p>(3) 統合を契機とした魅力的な学校づくりに関する先進的な取組 (具体的目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ会議システムを活用した職員会議、研究会等の持ち方、危機管理体制の構築等、施設分離型の義務教育学校における適切な学校運営の在り方を構築する。 ・施設分離型5・4制の義務教育学校における、よりよい異学年交流や合同行事のあり方、効果的な教科担任制の導入や乗り入れ授業を確立する。 <p>(成果目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の業務負担を感じることがないような学校運営が確立される。 ・早期の教科担任制の導入、異学年交流等により、児童生徒に確かな学力が定着し、自己有用感が高まる。 <p>(達成状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ会議システムに関しては、職員会に活用するなど有効に機能している。 ・一部教科担任制が実施され、アンケートでは7年生、8年生の9割が「授業に進んで取り組んでいる」と答えたり、先行実施した英語科では5、6年生で英語が好きと答える児童が多かったりしている。 |

※必要に応じて、適宜、表を追加・削除すること。

(2) 成果物等

別添の通り

(3) 今後の取組予定

| |
|--|
| <p>○ 鹿野学園運営協議会を中心として大学・NPO法人等とタイアップしたダイナミックな研究組織を構築</p> <p>(1) 統合後の学校が新たな学区の地域コミュニティの核として高い教育機能を発揮するための方策に関する研究</p> <p>(2) 統合を契機とした学校運営システムの抜本的改革に関する研究</p> <p>(3) 統合を契機とした魅力的な学校づくりに関する先進的な取組</p> |
|--|

※要点をまとめ、簡潔に記載すること。